

# 線形代数3

担当 丹下 基生 : 研究室 (B715) mail(tange@math.tsukuba.ac.jp)

## 第3回 ('25年1月15日)

Def.

$A \in M(n, \mathbb{C})$  とする.

$$A^* := {}^t \bar{A}$$

標準内積  $(\cdot, \cdot)$  を以下で定める.

$$(\mathbf{a}, \mathbf{b}) = {}^t \mathbf{a} \bar{\mathbf{b}} = \sum_{i=1}^n a_i \bar{b}_i$$

**Thm.**  $A \in M(n, \mathbb{C})$  が相異なる  $n$  個の固有値を持つとき,  $A$  は対角化可能である.

( $\therefore$ )  $\alpha_1, \dots, \alpha_n$  を  $A$  の異なる固有値とする. このとき, 固有空間だから  $V_{\alpha_i}$  の次元は 1 以上. よって,  $W := V_{\alpha_1} \oplus \dots \oplus V_{\alpha_n} \subset \mathbb{C}^n$  の  $W$  は  $n$  次元以上となる.  $\mathbb{C}^n$  の部分空間だからちょうど  $n$  次元となる. よって,  $V_{\alpha_1} \oplus \dots \oplus V_{\alpha_n} = \mathbb{C}^n$  よって,  $A$  は対角化可能.

**Fact.**  $W \subset V$  かつ  $\dim V = \dim W$  なら  $V = W$  である.

(今日やること)

Def.

$A \in M(n, \mathbb{C})$  とする.

$$A \text{ は正規行列} \Leftrightarrow A^* A = A A^*$$

$$A \text{ はユニタリ行列} \Leftrightarrow A^* A = E$$

$$A \text{ はエルミート行列} \Leftrightarrow A^* = A \quad A \text{ は歪エルミート行列} \Leftrightarrow A^* = -A$$

$A \in M(n, \mathbb{R})$  とする.

$$A \text{ は対称行列} \Leftrightarrow {}^t A = A$$

$$A \text{ は交代行列} \Leftrightarrow {}^t A = -A$$

$$A \text{ は直交行列} \Leftrightarrow {}^t A A = E$$

**正規行列はユニタリ行列によって対角化可能!**

**対称行列は直交行列によって対角化可能!**

特に対称行列は対角化可能.

**定理 7.4.**  $\mathbf{a}, \mathbf{b} \in \mathbb{C}^n$  と  $\mathbb{C}^n$  の標準内積  $(\cdot, \cdot)$  に対して次が成り立つ.

$$(\mathbf{A}\mathbf{a}, \mathbf{b}) = (\mathbf{a}, \mathbf{A}^*\mathbf{b})$$

**Thm.**  $A \in M(n, \mathbb{C})$  が正規行列のとき,  $\mathbf{A}\mathbf{p} = \alpha\mathbf{p}$  ならば,  $\mathbf{A}^*\mathbf{p} = \bar{\alpha}\mathbf{p}$

**Thm.**  $A \in M(n, \mathbb{C})$  はエルミート行列もしくは,  $A \in M(n, \mathbb{R})$  が対称行列の場合, 固有値は実数.  $A \in M(n, \mathbb{C})$  は歪エルミート行列もしくは,  $A \in M(n, \mathbb{R})$  が交代行列の場合, 固有値は純虚数. ユニタリ行列もしくは直交行列の固有値は長さが 1 の複素数, つまり,  $\mathbb{C}$  の単位円上にある.

**定理 7.5.**  $A = (\mathbf{a}_1 \cdots \mathbf{a}_n) \in M(n, \mathbb{C})$  に対して次が同値.

- $A$  はユニタリ行列である

- $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n$  は複素内積空間における正規直交基底である.
- $A$  は標準内積を保つ. つまり,  $(A\mathbf{a}, A\mathbf{b}) = (\mathbf{a}, \mathbf{b})$  が成り立つ.

定理 7.5'.  $A = (\mathbf{a}_1 \cdots \mathbf{a}_n) \in M(n, \mathbb{R})$  に対して次が同値.

- $A$  は直交行列である
- $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n$  は実内積空間における正規直交基底である.
- $A$  は標準内積を保つ. つまり,  $(A\mathbf{a}, A\mathbf{b}) = (\mathbf{a}, \mathbf{b})$  が成り立つ.

定理 7.6.  $A \in M(n, \mathbb{C})$  に対して次が同値である.

- $A$  は正規空間である.
- $A$  はユニタリ行列によって対角化できる.

問題 1 [対称行列の対角化]

$A = \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ -1 & 2 \end{pmatrix}$  とする. このとき,  $A$  は対角化できるか判定せよ. もし対角化できるなら, その固有ベクトルを求め, 対角化する正則行列を求めよ.

問題 2 [対称行列の対角化]

次の行列の固有値と固有空間の基底を求め, 直交行列によって対角化せよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 2 & -1 & -1 \\ -1 & 2 & -1 \\ -1 & -1 & 2 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 0 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 1 & 2 & -1 \\ 2 & 0 & 2 \\ -1 & 2 & 1 \end{pmatrix}$$

問題 3 [エルミート行列の対角化]

次の行列の固有値と固有空間の基底を求め, ユニタリ行列によって対角化せよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 1 & -i \\ i & 1 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 1 & -2i \\ 2i & 1 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 2 & i & 0 \\ -i & 3 & -i \\ 0 & i & 2 \end{pmatrix} \quad (4) \begin{pmatrix} 0 & i & 1 \\ -i & 0 & i \\ 1 & -i & 0 \end{pmatrix}$$

問題 1 の固有値

$\{3, 1\}$

問題 2 の固有値

(1)  $\{0, 3\}$

(2)  $\{-1, 2\}$

(3)  $\{\pm 2\sqrt{2}, 2\}$

問題 3 の固有値

(1)  $\{0, 3\}$

(2)  $\{3, -1\}$

(3)  $\{-2, 1\}$